而シテ当時一面協和会カ目下労働組合ノ作成ヲ企図シ居ルニ拘ハラス
ゞルノ既ニ同会幹部ノ脱会シテ居ルモノアリシヲ以テ同会幹部ニ
以来毎年毎ニ開催ヲ慫慂シ頻ニ困惑ニ居ルヲ以テ同様会
ニ同会ヲ解散セシメントシテ全国ニ波及セシメ会社幹部ニ於テモ
ハ工業研究中ニ同様ナラシカ会ヲ解散セシメシ法ニ依リ
去月ノ従業者時ニ応シテ解任ヲ通シ工場ヲ辞シ主任ヲシテ
「協和会ノ解散シ同意ヲ取リ且ツ之ニ調印セシメ為ハ全部
ノ全従業者ニ配布シテ同様ノ手続ヲ調印セシメタルカ賛成
時従業員二千名ノ男工ハ全部ソノ女工五名ノ女工カ之ヲ拒否シ
タルヲ何シテ押印シテ其ノ他ノ同日午後四時頃迄ニ記帳ナリ
ト云フ

掲示

協和会ハ会員工手其ノ三七〇〇名ノ同意ニ依リ解体セリ

依ツテ会社同会ノ案件ハ自然消滅ス

六月六日

工場長

今後会社ハ出勤職工中ヨリ協和会ノ様ナ労働組合ヲ組織
セシメ協和会ノ財産ノ引継ヲ受ケシムル方途ヲ考究シ
従業員ヲシテ之ヲ決定セシメ協議員ハ再選セシ後ニ委任シ後継ヲ
為サシメ事業継続ノ気勢ヲ揚ケシトスル意嚮ノ如シ

財團法人 協調會